

# Powerbook G3 (Pismo・2000) 分解マニュアル

## 【交換に必要な工具】

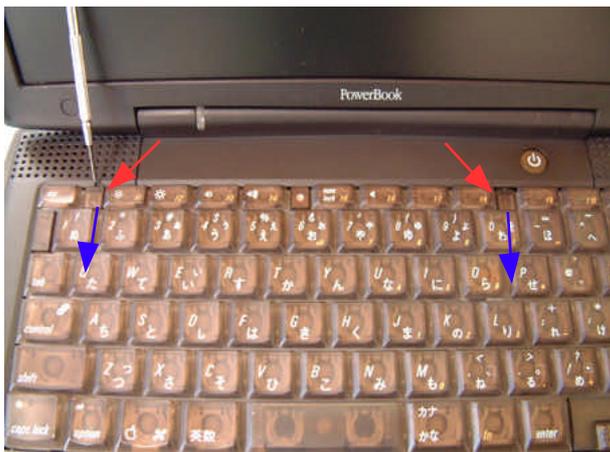
プラスドライバ、時計ドライバ(-)、T8トルクスドライバ



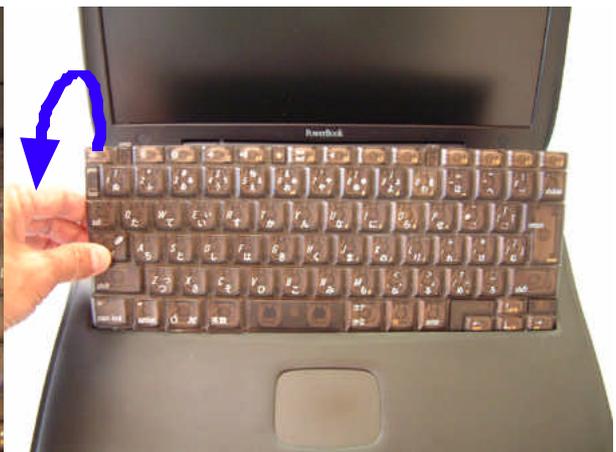
左右の拡張ベイから、メインバッテリーとドライブをはずす



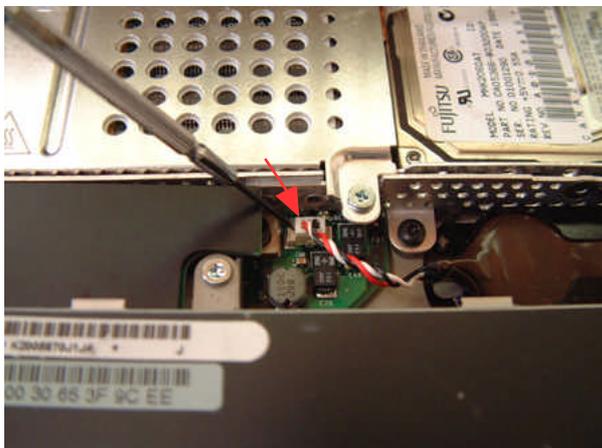
「F4」と「F5」の間のキーボードのネジロックを縦位置から横位置に変更する



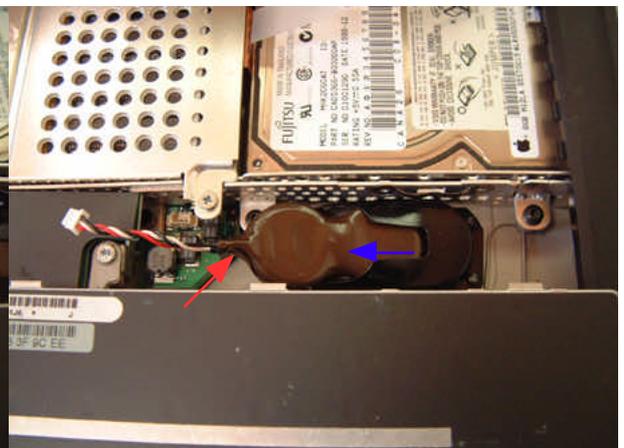
「esc」と「F1」、「F8」と「F9」の間の2つのフックを手前に引いてはずす



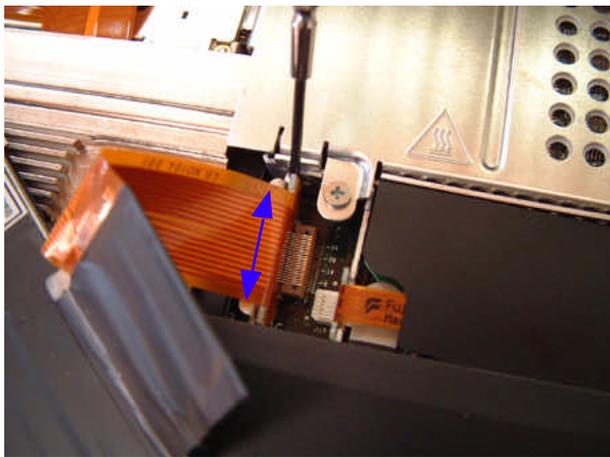
キーボード奥側を持ち上げて手前側に倒す



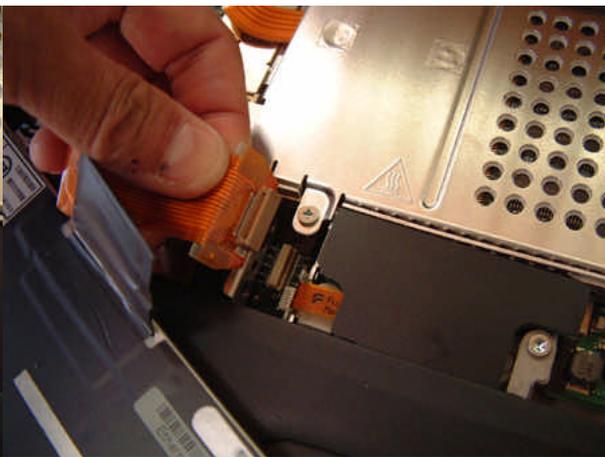
マイナスドライバでコネクタをこじ上げる



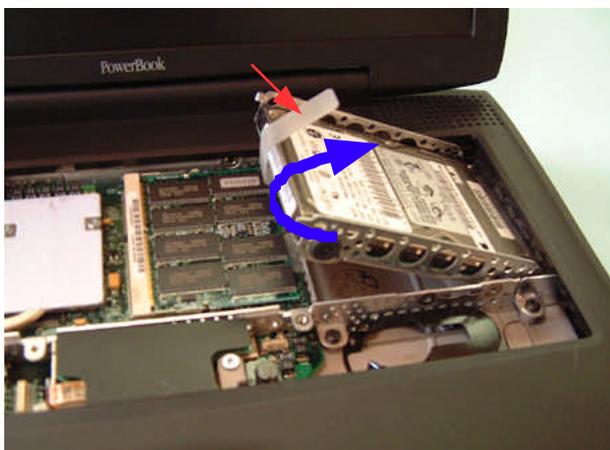
内蔵電池のリード線の付け根を持って左方向に抜き出す



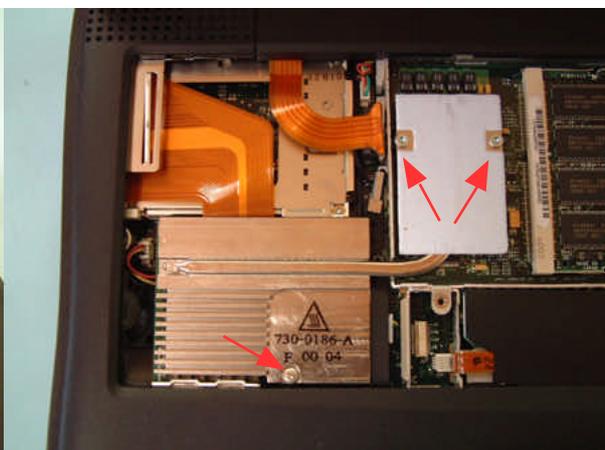
マイナスドライバーでコネクタのプリント基板の部分を前後に振ってこじ上げる



キーボードコネクタのプリント基板に一番近い部分を持って真上に引く抜く



半透明のプルタブを持ち上げて、HDDを取り出す



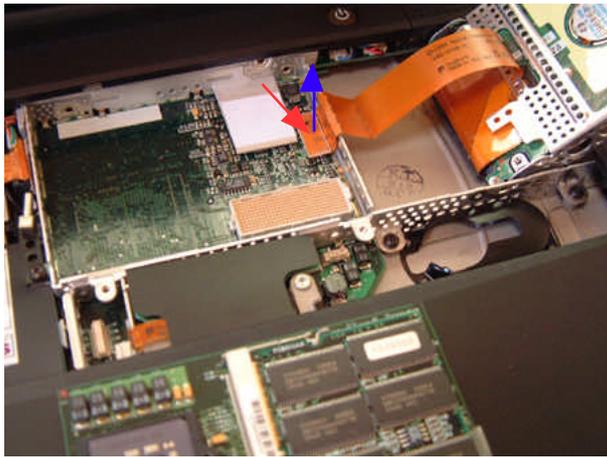
3本のネジを外して、ヒートシンク（放熱板）をまっすぐ上に持ち上げてはまず



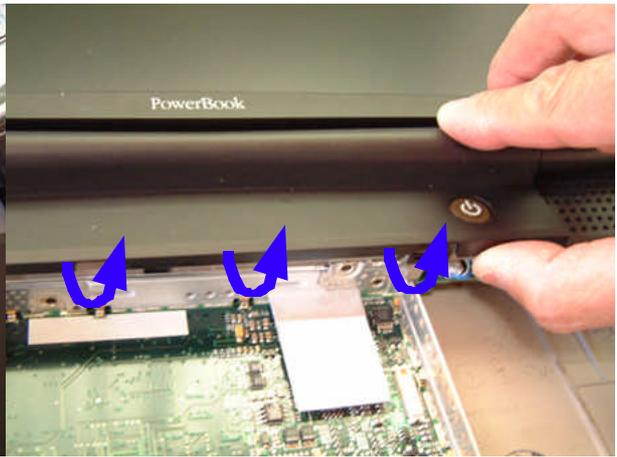
ヒートシンク（放熱板）をはずしたところ



ドータ（CPU）ボードの右下すみのすき間にドライバーを差込んでテコの原理で持ち上げ、コネクタが上下に外れたら、右方向に抜く



HDDコネクタを手で真上方向に引き抜く



液晶パネルのヒンジカバーは、右端を親指でめくりあげれば外れはじめるので、そのまま左に向かって作業を繰り返す。  
(以降の解説は省略)

本マニュアルは、Powerbook G3(Pismo・2000)のPRAM内蔵電池交換を目的とした分解マニュアルです。  
電池交換に関係のない箇所の分解については記述していません。

本マニュアルの記載内容については、明示の有無にかかわらず、一切の責任を負いません。 2005.12.5